

レジメン名

mFOLFOX6+Trastuzumab

出典 ハーセプチン適正使用ガイド  
エルプラット適正使用ガイド  
Bull Cancer 2015;102:324-331

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

HER2過剰発現の胃癌

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発

投与減量の基準

好中球	500/mm <sup>3</sup> 未満		
血小板	5万/mm <sup>3</sup> 未満		
その他	上記基準またはGrade3以上の消化器系の毒性を認めた場合、次回投与時L-OHPを65mg/m <sup>2</sup> 、5-FUを20%減量		

1クール期間 21日<sup>※2</sup>  
(次のクールまでの標準期間)

総クール数 PD

投与中止の基準

好中球	1500/mm <sup>3</sup> 未満		
血小板	7.5万/mm <sup>3</sup> 未満		
その他	LVEFが50%未満 Grade2以上の末梢神経障害 Grade3以上の非血液有害事象		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
トラスツズマブ	8mg/kg <sup>※2</sup>	生食250mL	90分 <sup>※1</sup>	d1(1コース目)
トラスツズマブ	6mg/kg <sup>※2</sup>	生食250mL	90分 <sup>※1</sup>	d1(2コース目以降)
エルプラット(オキサリプラチン)	85mg/m <sup>2</sup>	5%糖液 500mL	2時間	d1
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	5%糖液 250mL	2時間	d1
5-FU(急速静注)	400mg/m <sup>2</sup>	生食50mL	全開	d1
5-FU(持続静注)	2400mg/m <sup>2</sup>	輸液適量	46時間	d1
※1 初回90分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
※2 出典は14日間隔、投与量が異なるが、保険適用上21日毎で登録。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食100mL ルート確認用 ②トラスツズマブ + 注射用水 ml + 生食 250mL (90分) <sup>※1</sup> (2回目以降30分まで短縮可) ③アロキシ0.75mg+デキサート6.6mg+ 生食100mL (15分) ④エルプラット85mg/m <sup>2</sup> +5%TZ500mL (2時間) ④'レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> +5%TZ250mL (エルプラットと同時に、2時間) ⑤5-FU400mg/m <sup>2</sup> +生食50mL (全開) ⑥生食50mL (全開) ⑦5-FU2400mg/m <sup>2</sup> +生食αmL 計115mL (インフューザーポンプ使用にて46時間で投与) <内服> day2及び3 デカドロン 4mg 分1 朝食後